

ぬまづ憲法9条の会

136号

事務局
神田健夫
921-7755

安倍改憲宣言

自衛隊と書き込むだけ？ 9条2項は死文化する 武力行使 無制限に可能

安倍首相は、オリンピックの2020年までに、自衛隊を9条に明記する改憲を行うと宣言した。

世論調査では、人びとの要望上位は、社会保障福祉、景気雇用対策であり、憲法改正は最下位、憲法9条改正については、必要25%、不必要57%だ（NHK・日本人と憲法2017）。安倍首相は「私の歴史的使命は改憲」と、豪語“するが、民は改憲を望んではいない。

ちよつと待って考えよう

9条の1項、2項（戦力の不保持、交戦権の否認）

無制限に可能

はそのままにして、3項に自衛隊を明記するという。今ある自衛隊を書くだけだから、大したことはないと思われ、受け止める人も・・・でも、ちよつと待って、考えてみよう。

自衛隊を憲法に書き込むと

現憲法の2項（戦力の不保持、交戦権の否認）の下でも自民党は、世界有数の巨大な軍隊をつくり海外派兵の仕組みまでつくった。自衛隊を憲法に9条3項として書き込めば、2項を残したとしても2項の制約が及ばなくなり、武力行使の

限界がもともとなかったものとして、2項は無効化、死文化する。自衛隊は、海外での武力行使も無制限に可能になるのだ。

軍事力の統制なくなる

これまで武力行使はできないことを前提に海外での活動を枠づけていた。が、今回の改憲で、「大原則でできない。例外的にできる」から、自衛の名のもとに「できるのが原則」に変わるのだ。自衛隊を憲法上追認するにとどまらない。加えて言おう。これまで正当性に疑いをかけられていた自衛隊は“ある意味”身を慎んできた。憲法9条が“ある意味”自衛隊を財政的に統制してきた。

憲法に自衛隊を明記することで、先ず、軍事力を統制するものがなくなる、また、北東アジアの軍拡競争を加速させたり、さらに、初めて正当性を付与された自衛隊があぐらをかいて変

質する恐れがある。（昨今の暴走気味の安倍内閣と自衛隊の現状から十分推し量れる）

安倍宣言 憲法違反

そもそも、安倍首相が期限、内容を明確にして改憲を宣言したことは、行政府の長の憲法尊重義務（99条）違反、憲法原則の三権分立違反である。許せない。安倍首相は、国会で改憲発言を問われると、「読売新聞を読め」と言い放ち、自分好みのメディアを選別し言いたい放題である。（注2面詳述）

改憲の企てを拒むため

改憲派に抗する人たちの間でも、今、様々な意見があるだろう。

しかし、立憲主義を平気で否定する安倍首相に憲法をいじる資格はない。「安倍政権の下での憲法改悪に反対する」と4野党は一致している。市民と野党の共

闘がますます大切になってくる。

ぬまづ憲法9条の会も9条改憲の企てを拒むため、今こそ、力を合わせよう。

お知らせ

- 「改憲を断念させましょう」集会・木陰カフェ
- 6月18日（日）
- 13時30分開会
- 沼津中央公園
- 集会荒天中止 第25回
- 木陰カフェ（雨天中止）
- 飲み物、お菓子で
- 自由な意見交換



5月20日集会写真

駅前スタンディング

改憲反対・共謀法案廃案
6月10・17・24日（土）
13時30分～14時15分
沼津駅南口イーラDe前

共謀罪法案 廃案を もの言えぬ国にさせない

共謀罪法案は、テロ等準備罪法案と言うが、内容はテロ対策ではない。内心を処罰する、一般人を対象とする、監視・密告社会になりかねないなど危険性はつきりして、衆院で強行に採決された。

5月30日参院で審議が始まった。「もの言えぬ国」にさせないよう廃案に声を集め行動しよう。

ジョセフ・ケナタッチさん

国連プライバシー権の特別報告者・ジョセフ・ケナタッチさんが、プライバシー権、表現の自由の上で法案に懸念を表明すると、菅官房長官は「個人の見解にすぎない」と強く抗議した。国連特別報告者は、国連人権理事会が選出する正式な機関だ。長官の抗議は国連のシステムもわきまえず

日本国内と同様に恫喝すれば話が通るとみる、乱暴極らないものだ。昨年、国連人権理事会に

日本政府が選出された時、国連特別報告者との「建設的対話」を約束しただけに、国際社会から問われ笑われることになるだろう。

まずは“同志”に改憲表明

安倍首相の改憲宣言の流れ（前ページ注）をみると、

改憲宣言は、5月3日発行の読売新聞の安倍首相へのインタビュー記事で大々的に報じられた。

それに先立ち4月24日には読売新聞グループ代表・渡辺恒雄氏と二人きりで会食した。

5月3日、日本会議主導の改憲派集会で、安倍首相は同じ改憲宣言をビデオメッセージで訴えた。

集会には公明党が初参加し、維新の会も参加。公明党の「加憲」、維新の会の「高等教育無償化」が改憲項目として掲げられた。

自衛隊明記の改憲宣言は、日本会議の昨秋以来の提案に沿ったものである。その後、5月21日のニッ

ポン放送（フジ・産経グループ系のラジオ放送）で、安倍首相は「年内に自民改憲案」と語った。

こうして見ると、安倍首相の自分好みの、“同志”であるマスコミと団体に先ず表明し、国会ではほとんど語らず、「読売新聞を読め」と放言する。自分好みにマスコミを操り、

立憲主義を壊していく。・・・・・・

世の中・あれこれ

森友・加計 「官邸の最高レベルが言っている」

（文科省文書）「総理が言えないから私が言う」（首相補佐官発言）と次々にだが、安倍・菅は握りつぶしていく。証人喚問にも応じない。

書籍「総理」の著書を持ち

アレビなどで安倍ヨイショ・擁護発言をしている山口敬

之氏から性的暴行をうけた女性が、同氏の不起訴は不当と検察審査会に不服申し立てを行った。

また、同氏の逮捕を中止させたのは警視庁刑事部長（当時）。その中村格氏は菅官房長官の秘書官などを歴任し、現在警察庁で共謀罪法案の運用統括の担当部長である。奇怪な構図だ。

「護岸工事」着工と政府は

言う。だが、県民の意思は明確だ。辺野古「移設」ノー74%、翁長知事支持67%（琉球新報世論調査）。沖縄はあきらめない。戦いは続く。

角田由紀子さん（弁護士）

ぬまつ憲法9条の会の世話人に 世話人をお願いしたところ、快諾してくださいました。（紹介）

性暴力被害者の権利擁護、ドメスティック・バイオレンスなどに取り組む。2013年明治大学法科大学院

教授定年退職。安保法制違憲訴訟の会共同代表。

沼津在住。著書「性と法律―変わったこと、考えたいこと」岩波新書、2013年など多数。

5月の集会・パレード

共謀罪法案が衆院法務委員会強行採決された翌日、5月20日に、「改憲を断念させましょう」の集会・パレードが行われた。

戦争させない・憲法壊すな・沼津の会代表・福地絵子弁護士は、安倍政権の狙いは2020年の改憲です。共謀罪法で政府に反対する運動を委縮させることです。私たちは改憲も共謀罪も反対する国民運動を広げるよう頑張りましょうと訴えた。

前日国会前集會に参加した女性の報告、自由党・共産党代表の呼びかけなどの後、パレードに。コールしながら市民に呼びかけました。